

## 盲ろう者通訳・介助員 登録証交付式と現任研修を実施

1月9日(月祝)、今年度の養成講座を修了し、新たに盲ろう者通訳・介助員として登録された14名に登録証をお渡ししました。



<登録者の対応可能な通訳方法>

氏名	居住地	通訳方法
石田 和子	仙台市	筆記・音声・ひら
大槻 仁美	仙台市	筆記・音声・ひら
大友 清志	利府町	手話・音声・ひら
片倉 由紀	仙台市	筆記・音声・ひら
菅野 千恵	登米市	手話・音声
下山 智子	仙台市	音声・ひら
新出 祐美	多賀城市	手話・筆記・音声・ひら
大道寺 千寿子	岩沼市	音声・ひら
舘澤 千鶴	名取市	手話・ひら
菱谷 美穂	仙台市	筆記・音声・ひら
前嶋 慶子	富谷市	筆記・音声・ひら

他3名 ※ひら…手のひら書き

交付式の後に実施した現任研修は、新登録者も交えて「現場で使える！情報交換会」と題して、実際の活動中の困りごとや工夫について話し合いました。みやぎ盲ろう児・者友の会にご協力いただき、「介助中に危険だと感じたらまずは止まること」「買い物へ行くときは、本人のニーズを事前にきちんと把握するのが大切」など、すぐに活かせるアドバイスをいただきました。

## 知っていますか？ろう重複障害 そよかぜ広場の活動を聞きました

ろう重複障害とは、聴覚障害の他に視覚障害、知的障害など別の障害を併せ持っていることです。12月のセンターサロンでは、ろう重複児・者の支援活動をされているNPO法人そよかぜ広場の理事をお招きし、みみサポ職員と対談形式で活動の経緯や今後の展望をお話いただきました。



ろう重複の家族がいる方から、初めてろう重複を知ったという方まで幅広い参加があり、当事者と家族が安心して生活できる環境作りの必要性を共有しました。「様々な障害の方が自身でお仕事をされていることを知れて良かった」「ろう重複児の卒業後の居場所はとても大切。今後もそよかぜ広場を応援したい」などの感想が寄せられました。

## 事業者向けセミナー開催！！

1月17日(火)、「聴覚障害者と働く」をテーマに事業者向けセミナーを開催し、障害者就業・生活支援センターわ〜くの北川様より、聴覚障害者の就労に必要な配慮についてお話をいただきました。現在、聴覚障害者を雇用中または今後雇用予定の事業者に向けられた、「人間一人ひとり違うことが当たり前であるように、聴覚障害者も一人ひとり違い、適切な対応方法も異なる。その方に関心を持ち、適した支援を考える事が大切」との言葉に、参加者は大きく頷いていました。

